

# 令和5年度 日之影町立宮水小学校 学校評価

○「評価」について、目標の達成度に基づき、次の4段階で評価を行う。

4：期待以上、3：期待通り、2：やや期待を下回る、1：改善が必要

○「評価者」…「第一次」：学校による自己評価、「第二次」：保護者評価、「第三次」：学校運営協議会委員評価

評価項目	達成目標と方策		第一次評価者所見	評価		
				第一次	第二次	第三次
学力の向上	1	学習の基盤となる学習態度等の指導を日常的に徹底し、基本的な学習習慣の確立を図る。	立腰やチャイム黙想等ほどの学年でも定着が見られた。話の聞き方や発表の仕方については学年や個人によって意識の差もあるため、継続した指導が必要である。	3	3	3
	2	ICT(タブレットPC、電子黒板等)の活用を通して、主体的・対話的で深い学びの授業改善に取り組み、思考力・判断力・表現力等の育成を図る。	昨年度から継続して授業等で積極的にICTを活用し、思考ツールとしての児童のスキルも向上が見られた。表現力の育成に関しては今後も授業の工夫・改善が必要である。	3	2	3
	3	授業の他、モジュール学習や家庭学習の充実をさせ、基礎的・基本的な知識や技能の習得を図る。	朝のモジュール（漢字学習）や家庭と連携した学習の見届けなどにより、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図ることができた。	2	3	3
	4	地域の人的・物的教育資源を有効活用しながら読書活動を推進し、思考力や読解力の向上を図る。	図書活動推進員の活用や地域ボランティアによる読み聞かせ活動、家庭と連携した読書推進等により、充実した取組ができた。教科指導と関連した指導も推進を図っていききたい。	3	3	3
豊かな心の育成	1	児童会活動や学校行事の教育活動を通して主体的に行動できる力を育成する。	運営委員会の児童を中心に、全校での話し合いを行うなど、高学年が主体となった活動に意識して取り組んだ。あいさつ運動やボランティア活動に進んで取り組む児童が増えた。	3	3	3
	2	日常の指導を充実させ、基本的な生活習慣の確立を図る。あいさつ（会釈）、無言掃除、廊下歩行、靴の整頓	生活指導週間や常時指導により、改善は見られるものの、その場の雰囲気や状況に合った言動は、今後も継続的な指導が必要である。	3	3	3
	3	学級経営や教育相談の充実を通して、望ましい人間関係の醸成を図る。（いじめ・不登校への対応）	悩みアンケート・教育相談の実施により、児童の悩みを早期に発見し、対処することができた。今後も児童が楽しいと感じる学校を目指して充実を図っていききたい。	3	4	3
	4	いのちを大切にすることの教育の充実を図り、豊かな心を育む。	学校参観日に「いのちの教育」を実施することで、学校と家庭で「いのち」について考える機会となった。今後も命の大切さについて指導を継続していく。	3	4	4
すこやかな体の育成	1	日常的に立腰指導の徹底を図り、正しい姿勢の習慣化を図る。	授業開始終了での立腰は概ねできているが、話を聞いたり文字を書いたりする場面での姿勢には課題が残る。日常指導、家庭との連携など意識を高める指導に継続して取り組んでいく。	3	3	3
	2	体力向上プランを基に、体育科授業及び意図的・計画的な体育タイムの充実を通して、体力の向上を図る。	体力テストの結果をもとに体力向上プランの見直しを行い、体育的行事と関連して持久走やなわとび運動に取り組んだ。体力の低下が見られる項目に今後も力を入れていきたい。	3	3	3
	3	養護教諭と連携した授業及び日常指導等を行い、健康的な生活習慣の確立を図る。	養護教諭が計画的に授業を行い、児童の健康についての指導に取り組んだ。また、学校保健委員会を活用し、保護者と連携した生活指導を行うことができた。	3	3	3
	4	栄養教諭と連携した授業及び日常指導等を行い、望ましい食習慣の確立を図る。	授業や給食指導等に栄養教諭が積極的に関わり、児童の食についての意識を高めることができた。地域の食材を生かした献立を計画し、保護者へ食育の啓発を図っていった。	3	4	4
家庭・地域との連携・協働	1	めざす児童像や各月の重点指導目標を家庭と共有し、連携した取組で目標達成を目指す。	学校通信、学校HP等で児童像や重点目標を保護者に知らせたことで、重点努力事項について家庭と連携して取り組むことができた。	3	3	3
	2	地域の教育資源を活用した学習の充実を図る。（地域学校協働活動推進員との連携）	地域学校協働活動推進員と連携し、学校の教育活動に地域資源を活用することができた。山びこトークなど新たな活動にも取り組むことができた。	4	3	3
	3	家庭の教育力を向上させるための全校懇談会の充実を図る。	9月参観日に全校懇談を実施し、「携帯電話インターネットと親の対応」についての講演会を実施した。また、学級懇談、家庭教育学級等でも話題にすることができた。	3	3	3
	4	学校ホームページや学校通信等により、積極的に情報発信を行う。	学校通信や校長通信、毎日のホームページの更新により、積極的に学校の様子を地域、家庭に伝えることができた。保護者の学校の教育活動への関心・理解も高い。	4	3	3